

『志講話-南極で学ぶ人間力』風景

令和2年2月4日

【志講話】

2月4日(火)に全校生徒を対象とした『志講話』を実施しました。本年度は、指宿市の池田診療所で診療に当たられている宮田敬博先生を講師にお招きし、南極観測隊に参加された体験を基に「南極で学ぶ人間力」という演題で講話をしていただきました。



私が一番心に残っているのは、宮田さんが「かならずしも1+1=2ではない」という言葉です。その言葉は、南極と言う厳しい自然の中で仲間と一緒に過ごした宮田さんだから言える言葉であり、何も経験していない普通の人に言われても、何も心に響かなかったと思います。この言葉から、お互いが助け合うことは、自分たちが思っている以上に大きな力を持っているのだと気づき、仲間を大切にすることの大切さを改めて感じることができました。



今回の講話を聞いて、印象に残ったところは、自分たちで桜を作って花見を開いたり、自分たちで考えたイベントを開いたりしていたところです。「他の人を楽しませると自分も楽しくなる」という言葉を聞いて、人に対する感謝の気持ちが伝わってきました。また、救命医療以外のいろいろな仕事を行っている映像を見て、大変相だと思いました。少ない人数で協力し合ったりすることで、色々な事ができていたので、協力の大切さを改めて知ることができました。

